

## 社会福法人梅の里

所在地	茨城町
業種	医療・福祉
従業員数	70人

## 働き方改革に取り組もうとしたきっかけは

職員が働きやすい職場環境づくりを行うことで定着率を向上させ、採用活動におけるPRIに繋げていくため。

## 働き方改革の取組概要・効果

- ①年次有給休暇の取得促進のため、入職当日からの年次有給休暇の付与しており、また時間単位・半日単位での取得も可能
- ②育児休業の女性取得率100%の維持と男性取得の奨励
- ③男性も女性も子育てしやすい環境づくりの推進のため、子供の行事や配偶者の出産立ち合い時のための特別有給休暇を新設
- ④就業環境の向上や感染症対策のため、産業医も交えた労働衛生委員会を設置、月に一回開催し職員の健康管理に努めている
- ⑤年に複数回、職員から労働環境等に関する意見を募り、職員代表から労働衛生委員会に意見を提出している
- ⑥育児休業を取得している職員に対して、育休復帰支援プランを作成
- ⑦階層別研修を年に1回実施
- ⑧相談業務を中心にリモートワークの環境整備および実施

## 【効果】

- ①導入前に比べて年次有給休暇の取得率が大幅にアップ
- ②女性の取得率は引き続き100%を維持し、男性の取得率は2019年度25%、2020年度約33%と一定の効果
- ③新設後、該当する職員のほとんどが取得
- ④健康経営優良法人・いばらき健康経営推進事業所等各種認定を取得
- ⑤職員からの意見により、各種手当のアップや就業環境の見直し等に活用
- ⑥育児休業の円滑な取得と、スムーズな職場復帰が実現
- ⑦階層別の悩みを解決・共有することで仕事に対する意識の向上や私生活の充実に役立っている
- ⑧事業所間で在宅勤務日、出勤日を設定し実施、業務の効率化に役立っている

## 従業員のみなさんの反応は

一番難しさを感じたのは「周知」でしたが、管理職会議や労働衛生委員会等での周知を重ね、徐々に浸透してきていることを実感しており、好評を得ていると認識しています。年休や育休等の制度は利用者が明らかに増えてきています。また、労働環境に関する職員からの意見の募集は効果的であり、すべての意見に法人として回答を出しているため、回を重ねるごとに職員は忌憚のない意見を出しやすくなり、法人側も職員の生の意見を聞き運営に反映することができています。

## これから取り組もうとしている企業へアドバイス

一番の難しさは職員に「浸透させる」こと、だと思います。また、進めていく中で運営側が思っていることと職員側が思っていることのギャップも必ず生じてくると思います。どちらの問題も、労使のコミュニケーションが非常に重要になってきますが、当法人では「労働衛生委員会」というツールを有効に活用し、そのギャップを少しずつ、しかしながら確実に埋めていくことができます。

当法人は障害者の方を対象としたサービスを提供しています。職員の就業環境を整え満足度をあげていくことで、よりよいサービス提供につなげることを常に心がけています。